

調停條項

當事者各別紙物件目錄記載、地所ニ付申立人ハ相手方ヲ耕作為レタルコトヲ承認シ左ノ通り協定スルコト

第一 當事者双方ハ別紙物件目錄記載地所ニ付申立人又ハ相手方ノ請求ニ依リ何時モ賃貸借契約ノ解除ヲ為シ相手方ハ解除ノ土地ニ存存スル耕作物ヲ收去シテ明渡ヲ為スコト

第二 右解除スル場合ニ於テ申立人ハ相手方ニ付シテ左ノ区分ニ従ヒ土地明渡耕作物ノ補償有益費ノ償還等其一切ノ賠償トシテ左記金額ヲ交付又ハ保証スルコト

相手方ハ申立人カ右金額ノ交付又ハ保証スルト同時ニ同等ノ異議ナリ直ニ地所ノ返還ヲ為シ双方ハ耕作關係ヲ消滅スルモノトス  
(1) 申立人カ自己ノ都合ニ依リ前項契約解除ヲ為レル時ニ及ニ付金六百円

(2) 相手方ニ於テ自己ノ都合ニ依リ前項契約解除ヲ為レル時ニ及ニ付金四百二十円

前記(1)(2)ノ賠償料ハ耕作料納付反別ニ限ルモノトス

第二 前記第一ニ項ニ依リ契約ヲ解除シタルトキニ於テ其年ノ耕作料カ既

ニ支拂済ナルトキハ申立人ハ之ヲ返還セズ

而シテ未ダ支拂ナキトキハ申立人ハ其耕作料ヲ抛棄スルコト

第四 相手方ハ別紙物件目錄記載、地所ニ付賃貸借權ノ讓渡又ハ賣却其地地所ノ轉貸ヲスルコトヲ得ズ、且右レ之ニ違反シタルトキハ第一ニ項記載ノ利益ヲ失ヒ耕作關係ハ當然消滅スルコト

但シ地主ノ承諾ヲ得タル時ハ之ノ限りニ非ラズ

第五 耕作料ノ支拂期ハ其年分ヲ其年ノ十二月末日限り持参シ支拂フモノトシ若シ其支拂期ヲ経過シ支拂ヲ為サレル時ハ申立人ハ相手方ニ

付シテ其日ノ期限内ニ支拂ヲ為スヘキ旨催告シ若シ此ノ期限内ニ尚支拂ヲセザル時ハ第一ニ項記載ノ利益ヲ失ヒ耕作關係ハ當然消滅シ申立人ヨリ地所返還ノ請求アリタル時ハ直ニ異議ナク地所ノ明渡ヲ為スコト

第六 前記各項ノ契約ハ昭和十三年六月一日ヨリ昭和十三年五月三十日迄ノ満十ヶ月間効力ヲ有スルコト

但シ右期限後當事者ニ於テ契約ノ更新ヲ申出サルトキハ前記各項ノ契約ヲ継承スルモノト着做スルコト

以上